

会議録(要旨)

会議名等	令和6年度当事者会 11月定例会	文責	障がい福祉室
日程	令和6年11月21日 午後1時30分～3時45分	場所	メイシアター レセプションホール

1. 「障がい者児のための防災ハンドブック」について

今回の会議で話し合いは最後になる。

P9～P12、P16の背景図をどうするか？

・P9の背景図について

奈良市の分散避難の図である。知的障がいがある人には多くの情報があると見にくくなる。視覚障がいのある人には見にくいので、どういう意味が分からない。ただ、情報としては、分かりやすい内容なので、図のサイズを小さくして、余白に載せる。

・P10の背景図について

災害時給水マップの図である。防災ハンドブックのP10は福祉避難所の内容である。内容が異なるので載せない方がいい。今回は載せないで、次年度以降、改訂版の際に検討する。

・P11、P12、P16の背景図について

地区連合自治会の区域と名称、吹田市地図の図である。文字と背景図が重なっており、見にくくなっている。

P9～P12、P16については、修正したものを11月中にメールで送るので、委員で確認してもらう。

2. 茨木市障害当事者部会との交流会

茨木市から障害当事者部会の委員と事務局が来られ、吹田市の当事者会との交流があった。初めにそれぞれの自己紹介があった。

・吹田市地域自立支援協議会当事者会より活動報告がある。

当事者会は吹田市地域自立支援協議会の中に位置づけられており、地域会議及び専門部会と連携を図ること、地域の障がい者等との連携を図ること、障がいに関する理解啓発の取組を行うことを目的としている。定例会や役員会等の構成と開催頻度を説明。活動内容の説明があり、防災をテーマとしており、学習会や出前講座の実施したこと、今年度は防災ハンドブックを作成していることを説明した。また、小学校に福祉教育を実施、人権教育への参加等活動をしていることを説明した。

・茨木市障害当事者部会より活動報告

発足から10年になり、目的や委員の構成、取組みの紹介があった。Q&Aの見直し、ヘルプマークについてのアンケートを実施して、リーフレットを作成している。「避難所における障害者支援ガイド」を作成し、障がい者の支援を行っている。また、菜の花(障がい者相談支援センター)の説明があり、地域活動支援センターや相談支援センターの役割があるとの説明があった。

・防災についての意見交換

吹田市の防災ハンドブックについて、茨木市から意見をもらう。茨木市からは、障がい種別ごとに必要な情報が載っていて分かりやすい、内容の構成もよく考えられている。障がいを持つ当事者が普段から備えておくべき内容が書かれており、参考になった等の意見をもらう。

吹田市からは、茨木市の「避難所における障害者支援ガイド」について、シンボルマークがあり、分かりやすい。吹田市にない情報が載っていて、参考になったため、近隣他市の情報も知りたい等の意見があった。

交流会ではお互いのいいところを見つけることができたので、今後も続けていきたいとの意見があった。

3.障がい福祉室から

令和 7 年度以降に拡充を検討している事業について当事者会の意見を伺った。

4. 吹田市地域自立支援協議会地域会議(千里山・佐井寺)から

図書館の障がい者サービスを多くの方に知ってもらうために、図書館見学ツアーを企画している。当事者会の委員にも是非参加してほしいとの依頼がある。日程は当事者会の 1 月定例会と同じ日になっているため、参加をお願いします。

以上